

御妣神社創建 100 年 慶祝
有源招魂社 令和7年度 先哲祭

記念講演会

御案内

四條畷神社の御祭神楠正行公は、建武の中興の立役者 父正成公の遺志を継ぎ、天皇を支え続けて活躍し、智仁勇を貫く楠公精神は今も多くの人々に慕われています。その陰には正成公の妻として、その子正行公をして南朝を支える忠臣に育て上げた賢母久子刀自を忘れることはできません。本年は小楠公の母をご祭神として祀る四條畷神社の摂社 御妣神社が今秋、創建 100 年を迎えますので、之を慶祝し、湊川神社広報室長の鈴木智子先生に、楠公父子の二代に亘る活躍を支えた久子の、献身的な姿を女性の立場からお話いただきます。祝日の一日、お誘いあわせの上、お気軽にご参列賜りますよう心よりお待ち申し上げております。

日時 9月15日(敬老の日) 午前10時～午後3時

会場 四條畷神社 有源招魂社 神社会館

講演会次第 時間 午前11時～午後1時半

講話 I 「女性の鑑 久子刀自＝妻として 母として」

講師 鈴木 智子先生(湊川神社秘書課広報室長)



講師プロフィール

神戸市生れ。大阪府立大学農学部をご卒業後湊川神社で奉職。巫女長、舞指導主任、宮司秘書を経て現在広報室長として活躍中。ロータリークラブ、ライオンズクラブの卓話、生涯学習講座、ラジオ講座などで楠木正成公などについて多数講演講義を行う。月刊「日本」に「建武中興」連載中。

講話 II 「楠公精神を訓える水戸光圀公」

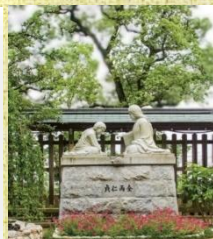
講師 宮武 清寛先生(論語普及会副会長)



楠 正行公と四條畷神社



南北朝時代、南朝の後村上天皇に仕えた武將楠正成の嫡男で父と並ぶ代表的名將。父の遺言に従い南朝の天皇を支えて戦い続けたが、ついに四條畷の戦いによって北朝軍に敗れ弟正時と刺し違え 23 歳の若さで殉死されこの地に埋葬された。明治 22 年に入り四條畷神社創建の勅許が下り、翌年鎮座祭が行われ、主祭神として殉節した 24 柱と共に祀られている。(写真 左：忠孝両全の碑。右：貞仁両全の碑)
四條畷神社から西へ 1 キロの地に小楠公墓所がある。



● 先哲祭とは、どういうものですか？

● 有源招魂社崇敬会は、どのような会ですか？

- 先哲祭は、今日の基礎となられた幾多の先人の功績をたたえ、遺徳を偲ぶために行われる行事です。本年は三十哲の一人、水戸光圀公を讃仰し、四條畷神社宮司により先哲祭を斎行いたします。



- かつて飯盛山の東峰にあり、永年国家有為の人材育成に尽力してきた成人教学研修所の精神を受け継ぎ、平成19年4月、神祠を当四條畷神社境内にお遷しし、有源招魂社として御社を建立しました。以来、御社を末永くお祭りするべく、崇敬会を結成しました。

爽秋の一日、共に学びましょう、知友お誘いあわせの上多数ご参加ください

「講演会のみ」の参加は無料です。祭典に際し御芳志を賜れば お名前を神前にお供えします。
駐車場は余裕有りませんので、お車でのお来場はお控え下さい。

◆◆◆◆◆ 主催：有源招魂社崇敬会 ◆◆◆◆◆

参加ご希望の方は、下記に記入の上、郵送・FAX・メールにてお申込み下さい

ご氏名		お電話	() -
紹介者	(氏名)	所 属	
ご住所	〒 -		
参 加	☐ 祭典・講話のみ参加	☐ 直会まで参加	
同伴者氏名 ※参加する方を 〇で囲んでください	講話のみ・直会まで	講話のみ・直会まで	
	講話のみ・直会まで	講話のみ・直会まで	
	講話のみ・直会まで	講話のみ・直会まで	

(有源招魂社崇敬会事務局 NPO法人 論語普及会)

〒531-0071 大阪市北区中津 7-5-21 アイオイ第一ビル 3 階 303 号室
TEL : 06-4797-9570 FAX : 06-4797-9571

E-mail rongo@violin.ocn.ne.jp URL <http://rongo-fukyukai.jp>

FAX